製産品紹介記事

鐵と鋼　第30年　第4號
（四月二十五日發行）

富士鹽槽式電氣爐
富士流氣式電氣爐
共に同社・製品として高評あり雜評を略す。

本　社富士電爐工業株式會社
東京都豐島區高田南町一ノ一九五
電話牛込（34）1530. 1753. 2586. 7233
大阪營業所　大阪市此花區上福島南一丁目四七
電話福島（45）4206

國産シリマナイト
經驗の累積は遂に國産**シリマナイト**の完成となり、日本特殊磁器株式會社は邦産中の優秀品を出す、同社の製品は○**シリマナイト**製品 保護管、燃燒管、坩堝其他各種**シリマナイト**耐火物 ○半熔融**アルミナ**製品 **ジンターコルンド** ○**マグネシヤ**製品○研磨用超微粉**アルミナ** ○電氣絶縁體（**アルミナ**質、珪酸苦土質）
照會先：—
日本特殊磁器株式會社
横濱市神奈川區西寺尾町1361
電話神奈川4-0970番

金屬　**セリウム・ランタン**
金屬　**リチウム・ヂルタンウム**
の製造に最も深い經驗と技術を有せる本社は軍需に呼應して **ヂルコン**鑛（月産百瓲精鑛生産）**モナズ**石（月産3瓲）**コロンブ**石（月産1瓲）**ルチール**（月産10瓲）の自鑛區採鑛精錬に全力を擧げ漸く目標額に到達せんとしつつあり
東京都日本橋區兩國三番地
（航空工業會員）稀有金屬精錬研究所
日本ヂルコニウム株式會社
電話浪花2612

アルミニウム方面に進出
普通の稀有金屬分析には最も古い經驗を有する 東京工業分析所は時局の動に鑑み七月以來**アルミニウム**に關する分析檢定に着手することゝなり目下諸準備の完了を見んとしつゝあり。檢定料金、
普通成分 ¥2.00　**アルミニウム** 成分 ¥2.00
稀有金屬 〃 ¥3.00
手續は下記に問合されたし
東京工業分析所　向島區吾嬬町西三丁目十三番地
電話田74—5863　振替東京47262

丸本工業商會（合資會社）
去る五月下記に移轉と同時に電話を增設して時局下の經營に一層の獻身努力を拂ふこととなれり、取扱品目は從來の如く、◎TO型光高溫計 ◎N. T. J. **シリマナイト**保護管及燃燒管 ◎**金屬顯微鏡試料調製器械及材料** ◎**ベツヘ型空氣鎚**
東京都京橋區二丁目二番地四號
合資會社　丸本工業商會
電話京橋（56）6916. 1575

軍需、重點産業用工業窯爐
界に其優秀なる技術と深き經驗とを持つて各方面の要望に應へつゝある 本社は近く工場擴張をし更に躍進的發展を期しつゝあり 戰時增産に貢獻する 同社の前途は注目と共に期待すべきものあり。
東京高熱工業株式會社
東京都京橋區木挽町四丁目二番地
電話京橋（56）1816. 4389 4459. 6720

滿洲製鐵株式會社
は昭和十九年四月一日昭和製鋼所、本溪湖煤鐵公司、東邊道開發株式會社の合併により成立したもので資本金七億四千萬圓 本社を滿洲國鞍山市 支社を滿洲國本溪湖及び通化市に 東京事務所を麴町區丸ノ内二ノ一八 康德會館に置く 重役は下記の通り以て戰時下國民の信頼感に應ぜんとす。
理事長　島岡亮太郎
常務理事　森川親友、畠山藏六、松原武三郎
池田卓一
相談役　高崎達之助

東京熱工株式會社
同社は加熱爐、熔解爐、燃燒機器の製造を專門とし、多年の經驗と研究努力による 築爐技術は一般の定評である 特に熱管理の上より其技術は高く評價され築爐工業界に重きをなして居る。
本社　東京都京橋區築地四ノ八
（電 築地183、374）

日本化工器製作所
は一般理化學工業用機械の製作に其特異性を發揮してゐるが中にも電氣爐の製作は最も卓越せるもので猶最近に於ける 同所技術部の研究と工場に於ける製作の熟練は世人の齊しく認める所である。同所製造の電氣爐中 NK式タンマン電氣爐は其最高溫度 2300°C常用 2000°C といふ優秀なもので その發熱體には炭素管を用ひ、高溫度使用狀態に於ても 同所設計製作の變壓器の調整に依り長時間の使用に堪へ 又溫度の調節も自由に行ひ得る、其構裝は 標準型に於ては變壓器を藏する鐵函の 上部に電壓調節タップ 及計器類を設け、爐體は鐵函の側面に 支持され、把手に依りその 角度を自由に 變へ得ることにより作業を一層便ならしめた。爐體の角度轉換に依り 管狀爐、坩堝爐の 何れとしても使用可能で、鐵中炭素の定量、石炭灰分の熔融點測定、元素分析用、高速度鋼工具の燒入、耐火度試驗、一般金屬の熔融等に最適のものである。
本社・東京・神田區岩本町交叉點　共榮ビル
電話・浪花（67）2117‥‥9

山口の光高溫計
從來の製作に滿足することなく時局の動向に鑑み鋭意研究工場の刷新を計ると共に本夏に入つて 金屬研究室及工場に於て 使用する熱電氣式高溫度計及電氣測定器の製作に 重點を置き 多量製産を急ぎつゝあり 此後は使用者方面の期待に十分に添ひ得るものと觀測せらる。
山口製作所營業所
東京都日本橋區本町四丁目十二番地
電話浪花（67）1322番

民間製鐵業
に最古の歷史を有する日本鋼管株式會社は資本金貳億五千七百萬圓を擁し、全工場を操業して 此緊迫せる時局に要する鐵、鋼材を供給して 餘裕綽々たるものあり蓋し 明治四十五年以來 三十五年間の困苦錬磨の技と辛苦經營の 賜と云ふを得べし、創立當時の 資本金二百萬圓より、以來他社を合併して現在に及びたり。
會長　白石元治郎　生産責任者社長　淺野良三
本社　東京都丸ノ内

熱電高溫計と熱電對
高熱作業と熱電高溫計
擧國生産增强に熱火の雄叫を殺げて居ます殊に航空機器造航空部門等の生産增强は最喫緊事たる事は申す迄もありません弊所は上述の 見地より高溫工業の 生産增强の一翼を負ひ高溫計及熱電對の 大量生産に鋭意不斷の 努力を傾倒しつつあります **携帶用高溫計**本器は可攜式熱電高溫計でありまして作業場任意の箇所に携行の上溫度測定が出來ます。可動線輪 指針・發條「**ピボット**」軸受及永久磁石は特殊「**マグネツト**」を使用し獨特なる人工「**エーチング**」を施し長期に渉つて 自然枯化をさせ 磁力の減退に基因する誤差の絶無なからん事を期して居ります **熱電對** アルメルクロメル線 白金白金ロヂウム線、熱電對の壽命は一に保護管の良否如何に依るものでありまして 弊所製保護外管は 特殊耐熱鋼管を使用し極めて優秀なる材質を以て造りましたので 好く高溫に耐へ 最も理想的熱電對として推奬致します。
東京都神田區淡路町二丁目一番地 新井ビル三階
大和計器工業所
電話神田（25）3044

昭和十九年四月二十三日印刷
昭和十九年四月二十五日發行
編輯兼發行人　東京都中野區鷺宮六丁目八四六番地ノ一
印刷所　東京都神田區美土代町十六番地
印刷所　東京都神田區淡路町二丁目十四號館一九號
發行所　東京都麴町區丸ノ内二丁目十番地仲
配給元　東京都神田區淡路町二丁目十四號館一九號
松野
（東京三一）倉橋直男
日本圖書株式會社
日本鐵鋼協會
日本出版配給株式會社
振替貯金口座東京一九三番
電話丸ノ内（23）三六二六番
日本出版文化協會會員第三三二九號
【定價金八錢】
表紙廣告料金一頁金壹拾七圓
表紙第二頁及前後附紙各三十圓
表紙第三頁附紙各三十圓
表紙第四頁各四十二圓